

平成23年度事業総括

専務理事 川 島 典 之

平成23年度は、「しみんてい」が誕生して10周年。10周年記念事業として、会として助成金を2団体にだすことができたこと、また秋祭りに昔よく見られた「菓子まき」を大勢のお客を前に2回実施できたこと、更に「市民活動交流フォーラム」を「再発見！地域の絆」のテーマのもと多くの市民活動グループの参加を得て実施できました。



「木曽川源流・冬の交流合宿」も実験的に行なったところとても好評でした。

第1・第3日曜日の「しみんていまちの駅」「朝広房」が理事の協力により6月から確実に実施できたことは特に嬉しかったことです。

楽田地区、城東地区、塔野地地区での地域連携が着々と進み、まちづくり会社、犬山商工会議所や城下町の人達と各種祭りを通して協働事業ができたことも嬉しいことです。

23年度も充実した年度でした。会員の皆様のご努力、ご支援、協働の意識に心から感謝申し上げます。理事の皆様とは、10周年を目指して勉強会を始め、「5年間中期活動計画づくり」「10周年事業計画」もでき、しみんていの今後に向け弾みができました。なお一層地道に中間支援機能を高めていきたいものです。

第1 研修事業について

いぬやま未来塾「まちづくりコーディネイター養成講座」(5回)は、参加者は伸び悩んでいますが犬山市役所、商工会議所を巻き込みながらたんと実施していくことが大切です。

第2 NPO普及啓発・情報提供事業について

「しみんていニュース」は年6回、夏季特別号と確実に発行でき、「しみんてい」の機能PR、ホームページの整備も進み、この事業は及第点と思います。

今年度から、当会に登録している団体・グループの活動内容をホームページに掲載を始めました。まだ、提出されていないグループはぜひ参加してください。

第3 相談・助言事業について

コミュニティ活動、市民活動、ボランティア活動に関する相談、助言、コーディネートが確実に増えてきています。講師派遣、視察者も増加の方向です。

第4 人材交流・ネットワーク促進事業について

■楽田地区コミュニティと(特)シェイクハンスと協働して在住外国人の子どもの学習支援“おかえりなさい塾”と“みんなの日曜塾”を市の事業として引き続き開催できました。

■子ども達がプロデューサーになっての「子どもよる 子どものための“森と遊ぼう”」の企画事業も2年目子どものプロデューサーは10人、来年はどうするか消極的です。

■馬瀬夏季交流合宿は年目でさらにプログラムが輝きを見せ大成功。「子ども大学」は(21講座、453名)、益々活発な活動ができました。「冬の交流合宿」は、実験的に実施しましたが、参加費も高く心配しましたが、参加者の集まりもよく大成功でした。

■「市民活動交流フォーラム」は、しみんてい10周年を向かえて、今年は、多くの団体・グループの参加を得て賑やかに交流がしたいと考え実施しました。市民アピール22グループ、ブースのみ3団体で、全く初めてのグループもあり25団体の参加を得て行なうことができました。体験コーナーは7団体が参加してくれました。

■10周年を記念して当会で市民活動を応援しようと始めて助成金を募集し、2団体にだすことができました。(10万円6町内合同盆踊り大会実行委員会、5万円犬山よりみち探偵団)

第5 調査研究・政策提言事業について

犬山市とNPOとの協働ルールを結ぶための第一歩ができたようです。犬山市の姿勢が大切なので、そのことに勢力を尽くしたい。この事業の中で、「まちづくり研究集会」ができませんでした。また、視察研修も不発でした。反省です。

(I) 研修事業

本講座は、行政、企業、市民（NPO）の各セクターを問わず、地域社会の未来をともに手をつなぎながら描いていこうとしている人々に対して、新しい集団づくりに必要な考え方や手法を体験する場を提供し、市民参加のまちづくりに取り組もうとする人材の育成や、ネットワークの拡大を図ることを目的として開催しました。

(1) 『いぬやま未来塾』

- コーディネイターにとって不可欠なファシリテーションの基礎を習得する。
- 長期的な見通しを持ち、物事を不偏的に捉える力やバランス感覚を養う。
- 組織運営や人材育成、会議などの現場に参加型の場づくりの手法を導入する際のポイントと、その成果を確実なものにするための要件を学ぶ。

◆講師 いの うえ あき の すけ 井上 淳之典 寺小屋プロジェクト代表

回	とき・ところ	テーマ	内容	参加者
1	5月29日（日） 13:00-17:00 犬山市福社会館	「聞くこと」はすべてのコミュニケーションの基本	◆インタビューゲーム体験 ◆オリエンテーションー学習課題の棚卸し ◆ブレインストーミング実習など	9名
2	6月12日（日） 13:00-17:00 犬山市福社会館	「書くこと」で議論が手に取るように見えるようになる	◆ファシリテーショングラフィック体験 ◆ワークショップサイクル（発散と収束） ◆ファシリテーターの技術と心得など	7名
3	6月26日（日） 13:00-17:00 犬山市福社会館	「考えること」を考えるー企画を生み出すポイントとは？	◆マーケティングゲーム体験 ◆カード集類法、簡易情報集約法実習 ◆フレームワークとプロセスデザインなど	6名
4	7月10日（日） 13:00-17:00 犬山市福社会館	「コンテンツとコンテキスト」合意形成を促すために	◆コンセンサスゲーム体験 ◆コンテンツとコンテキスト ◆1～4回のふりかえりと意見交換など	5名
5	7月24日（日） 10:00-17:00 犬山市福社会館	＜交流学習会＞ 地域を元気にするためにできること	◆経営シミュレーションゲームを体験しながら、新しい組織や地域ビジョンについて考えます	11名

【成果と反省】

今回の講座は、ボランティア活動を長くされてきた方やまちづくりに関心がある方・中間支援団体職員・NPOのスタッフなどいろいろな方が参加されました。グループワークを中心とした講座内容で参加した方々は、「ワークショップ」や「ファシリテーション」について理解を深めることが出来たとの感想を多く頂き、講座期間中に学んだ事を実践したという方もみえました。



〔Ⅲ〕普及啓発・情報提供事業

「しみんてい」の周知のために、犬山市内及び愛知県下、岐阜県、三重県の自治体・NPO 向けにペーパーによる広報活動を行うと共に、ホームページの充実、「しみんてい」内の掲示板、各種チラシの掲示の充実を図ってきました。

（１）ニュースの発行

隔月に発行し、配布先は愛知県下・岐阜県下・三重県下の自治体をはじめNPO向けに、2,500部配布している。

- ① 発行回数 6回（52号～57号）、「馬瀬川特別号」1回
- ② 発行枚数 2,500部（毎回）
- ③ 会員、愛知県下の自治体、主なNPO、岐阜県及び三重県の自治体及び主なNPOへ配布。

（２）ネットワーク運営事業

- ① ホームページの充実。
- ② 催事カレンダー（犬山市内の行政・NPOの活動カレンダー）の作成。
- ③ 当会所属の団体の活動紹介を順次掲載してゆく。

（３）まちの駅・しみんていの活動のPR活動の推進

- ① 第1日曜日及び第3日曜日の午後から本町通を歩行者天国になったことに対応して、「しみんてい」では、次のことを開催した。

- ☆ 第1、第3日曜日の朝から午後にかけて「しみんてい朝広房」を開催した。
新鮮な野菜、物販を担当の理事を決めて行なった。
- ☆ コーヒー、抹茶も安く提供した。

- ② 「しみんてい」は、観光客が手軽に休憩所として利用できるように、お茶の無料提供、コーヒー（有料）も提供している。また、トイレも気軽に利用してもらえるように看板に表示している。（毎日実施）

〔Ⅲ〕 相談・助言事業

（１） 概 要

「しみんてい」の運営及び「犬山しみんていの会」の事業実施に伴うコーディネートをし、団体・グループ、個人への相談・アドバイスをしています。

また、しみんていから講師派遣をし、各種団体との協働事業の参加、自治体の各種会議及び犬山市の各種委員会などへの人材派遣などを通して「犬山しみんてい」の名前と顔を売り、市民活動の普及啓発活動に取り組んでいます。

（２） 具体的な活動

ア コーディネイト

人材育成事業、人材交流・ネットワーク促進事業を通じ、また各種相談の中から必要なものにつき特にコーディネートしています。相談に見えた「高齢者の生活支援ネットワークを考える会」の活動について城東小学校区コミュニティ推進協議会丹羽会長に話を聞いてもらい、両者が連携する方向にコーディネートした。

イ 相談に関する業務

① 市民活動相談

- ★NPO法人に関すること・・・11件 ★活動に関すること・・・25件
- ★市町職員への相談・アドバイス・・・12件

② ボランティアにかかわる相談・・・13件

③ 各市町村職員・議員、市民活動団体の視察及び相談・・・犬山西コミュニティ準備会、岐阜県北方町政策審議会、愛知県国際交流協会、あいち子どもNPO、地域福祉を考える会、桑名市健康推進協会、知多市寺本わが家7件

ウ 犬山市民活動支援に関する条例に関わる相談・アドバイス

① 助成金に関するもの・・・11件

② 登録に関するもの・・・5件

エ 普及啓発活動

① 協働事業・・・犬山まつり春祭り、秋祭り、ビール祭り、ワインまつり、あったか鍋・地酒祭り、犬山市産業振興祭、森と遊ぼう、NPOフォーラム、集まれ犬山っ子、塔野地区の集い、城下町まちづくり協会、犬山市青少年健全育成市民会議の運動、多文化共生・地域づくり講演会の13件

② 市並びに各種団体への講師及び委員派遣

- ★ 各種委員会への委員派遣・・・コミュニティ政策学会、大口町NPO促進委員会、市民フォーラム21NPOセンター、ボランタリーネイバース、犬山市男女共同参画推進協議会、犬山市男女共同参画市民会議、犬山市次世代育成推進協議会、犬山市青少年問題協議会、犬山社会教育審議会、犬山里山学センター運営協議会、市民展企画委員会、犬山城下町まちづくり協会、古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク、犬山まつり実行委員会14件
- ★ 講師派遣・・・東海北陸社会教育研究大会（高山市）1件

③ 各種会合への参加・・・犬山市交礼会、犬山まつり実行委員会、城下町まちづくり協会3件、あんきにくらそう会総会、犬山甲冑制作同好会総会、市民フォーラム21総会、理事会、楽田地区コミュニティ推進協議会総会、楽田小学校卒業式、あいち協働ネットワークフォーラム、愛フェス実行委員会、第3回 Make a CHANGE Day 実行委員会など20件

〔Ⅳ〕人材交流・ネットワーク事業

〔Ⅰ〕10周年記念事業

① 「しみんてい10周年記念助成事業」で助成金2団体へ交付

しみんてい10周年を記念して助成金（原資30万円）を市民活動グループへ助成しようとする事業で、6月から7月にかけて公募したところ2団体からの応募があり、「6町内合同盆踊り大会実行委員会」へ10万円、「犬山よりみち探偵団」へ5万円交付しました。



② “秋祭り” 菓子まき “

最近では、珍しい”菓子まき”をしようとする事業で、秋祭りの10月23日（日）しみんてい前で午前10時30分と午後3時に行ないました。屋台も出ている関係上心配をして後方でフォローする人を配置して、実施。参加者みんな喜んで菓子を拾っていました。「こっち」「こっち」と声が上がるとそちらへ菓子が飛んでいきます。多く人も拾う人も結構楽しんでいました。大成功です。



③ 「功労者表彰」

総会時に、創設以来しみんていに長年にわたって貢献された人たちを表彰しました。

今回で理事長を退任される武長脩行さん、高田弘子さん、米澤邦弘さん、松本里美さん、和田本子さん、西尾晴孝さん、8年間事務局長を務められた山崎隆治さんの7人です。

ご苦労様です。引き続きよろしくお願い申し上げます。

(2) 外国籍の子どもの居場所づくり～日本語・学習支援～

■ねらい

犬山市内に住み、公立の小中学校へ通う約70人の児童を対象に、日本語指導や学習支援の学習環境を整えると共に、居場所としての機能を持たせたものである。

地域支援の一環として、親子で参加できる交流の場も設け、外国籍親子が安心して生活できるようにサポートします。

■事業内容

(1) おかえりなさい塾

- * 毎週木曜日 午後2時～6時開催
- * 参加登録児童 30人（楽田小30人）
国別登録：ペルー22人、ボリビア3人、
ブラジル3人、フィリピン2人
- * 開催日数 全54回
- * <特別開催>
 - ・夏休み特別塾 8月28日、29日
（県営楽田住宅集会所）
 - ・冬休み特別塾 12月26日～28日、
1月5日（県営楽田住宅集会所）
 - ・春休み特別塾 3月27日、28日

(2) みんなの日曜塾

- * 毎週日曜日 午前10時～12時。
時折「交流会」開催
- * 内 容
 - ☆ 登録参加者
親子4組、幼児親子1組、大人6人
国別登録：ペルー（子5人、大人8人）
中国（大人2人）、（ロシア大人1人）
 - ☆ 子ども向けの母国語教室
（スペイン語）全37回
 - ☆ 大人向け日本語教室 全37回
 - ☆ 交流会
 - ・宿泊交流 7月31日～8月1日
 - ・クリスマス会
（ジャズピアニストと）12月22日
 - ・東日本震災人と交流 3月17日
フォトストーリーを聞く会、お別れ会



(3) 木曽川源流・夏の交流合宿

『昔ながらの山村風景の中で、心が躍る、感動体験をしよう！』

～他では絶対味わえない 二泊三日のストーリー～

8月25日（木）～27日（土）に、高山市清見、下呂市馬瀬で、24人の子どもスタッフ10人、愛知淑徳大学生7人で、楽しい三日間を過ごしてきた。

子ども達は、感動いっぱい！喜び、楽しさ120パーセントの日々でした。

<一日目>8月25日（木）

おっぱら自然体験センターで、班旗を2班に分かれて制作し、



今年は、あいにくの大雨で川での砂金採りはで

きなくて、「体験館」で行った。結果的に砂金の取れた子どもがいつもより多く、『お母さんへのお土産』の声も上がっていました。休憩時間は、体育館で、学生や大人とマットレス、箱とび、ボール遊びに興じていました。

夕食づくりでは、子どもも参加し、タマネギむきに格闘していた。お陰で美味しいカレーライスが食べられた。

夜はペットボトルでエコランタンを作り、雨の上だった屋外で夜間ハイクを行なうことができた。ランタンが林の中で揺れている様は幻想的でした。



<二日目>8月26日（金）

大原から馬瀬への移動は大変です。朝早くから起きて奮闘です。「水辺の館」に到着次第、沢登り班は、着替えをして出発です。ここ数日の大雨で現地点検もしてもらったの出発でした。少し心配でした。リーダーには万全の安全策をお願いしました。片方の班は、森を散策して自然素材を収集して「ネイチャークラフト作り」です。心配していた「沢登り班」大分遅れて無事戻ってきました。ひと安心です。午後からは班が入れ替わって行ないます。

子ども達は、沢登りでは、終点の滝壺でおおはしゃぎのようでした。「クラフト作り」も、とても楽しそうに制作していて、それぞれ個性溢れる作品ができていました。

夜は、雨も上がり、「楽しい交流会」です。学生が主導してくれました。



<三日目>8月27日（土）

「森林アドベンチャー」「溪流釣り」ともみんな堪能していました。

特に「森林アドベンチャーでは」昨年より規模は、大きくなり時間が足りないくらいでした。空中散歩やロープでの木登りなど多彩なプログラム。

「釣り」では、何匹か吊り上げ楽しい笑顔です。

今年も、子ども達に笑顔満載、感動いっぱいの三日間でした。

現地のスタッフありがとう。当会のスタッフ、学生ご苦労様でした。あなた方の力で、今回も子

ども達に多くの喜びを与えることができました。

(4) 木曽川源流・冬の交流合宿

平成23年度福祉医療機構社会福祉振興助成事業

『白銀の世界の中で、思いっきり遊びまわり、感動体験したよね・・・!』

平成24年1月7日(土)～9日(月・祝日)に、高山市清見大原「おっぱら自然体験センター」初めての白銀の世界で、子ども20人、スタッフ10人、愛知淑徳大学生10人で、楽しく、厳しく、大変な三日間を過ごしてきました。

子ども達は、終れば、感動いっぱい!喜び、楽しさ100パーセントの日々でした。
＜一日目＞1月7日(土)

雪がやや少ない中、到着次第、昼食を済まし、2班に別れ班旗作りと班長、次長選びです。班は、スノーマン班、スノーヤンキー班です。その後は、「かまくら作り(イグルー)」です。校庭一杯、雪野原。その雪をカゴに踏み固めて、イグルーづくりに使用するの繰り返し、子ども達は一生懸命。へとへとになりながら3時間半かけて完成です。ヤッターの声!!夜は、作ったイグルーの周りに灯りを灯し、交流です。イグルーの中は風を防ぐことができ結構暖かです。



＜二日目＞1月8日(日)

朝食を済ませたら、いよいよ「カンジキはいての山登り」、パンと水筒もって出発です。なれないカンジキ、急な山道は大変、休憩続出です。でも苦しい思いをしながら頂上へ到達した。だれも声が出ません!!でも子ども達は小休止すると直ぐ元気になります。天気の良い頂上での昼食は最高です。センターも真下に見えます。みんなで写真を撮って、尻スキーで下山です。木に衝突する子どもも居ましたが、これはみんな喜んで楽しみました。センターへ到着後は、美味しいお汁粉とても美味しかった。

夕方、ランタン作りをし、ナイトハイクに備えました。ランタンを持てのナイトハイクは、きれいです。遠くから見てもゆらゆら幻想的な世界に見えます。

ハイク後は、古澤さんが子ども達にワークショップをしながら感想なども聞きました。

＜三日目＞1月9日(月・祝日)

さあ!最後の日「花もちづくり」、もちを小さく刻んで、木に巻きつけて作ってゆきます。早い子や遅い子など様々ですが、自分の机の上に飾っておくときれいでしょう。大原での伝統のある花もち作りです。

最後は、三日間使用させていただいた施設へのお礼を兼ねてきれいに清掃して帰りましょう。

組合長はじめ現地のスタッフの方、当会のスタッフの方、愛知淑徳大学の学生さん本当にありがとう。厚く感謝申し上げます。



(5) 子どもによる子どものための”森と遊ぼう！”

一般財団法人セブン-イレブン記念財団「2011年度みどりの基金」



11月5日に開催！

子ども達10人が、議論して7個のプログラムを完成し、大人のサポートを得ながら募集チラシを完成した。9月中旬から募集を開始し50名の一般応募があり、子ども大学「国際理解」の子ども達28人を加え、78人の子ども達が栗栖の野外活動センターに集まった。大人のサポーター30人。



まず、開会セレモニーでは、参加するプログラムごとに子ども達が集まり、子どものファシリテーターとして活躍していた古澤さんが進行を務め、各プログラム担当

の子どもが、内容の説明をし、しみんていのボス川島が「今日一日、けがをしてもいいから元気に活動してください」と子ども達を激励した。それから各プログラムに分かれて、活動開始。

◆プログラム◆

- 1、全体プログラム
セレモニー・樹上回遊
- 2、個別プログラム
 - A、宝の森&水でっぼう戦争
 - B、サバイバルくねくねベーカリー
 - C、レッツGOフィッシング
 - D、ツリーハウスカフェ
 - E、プールパイレーツリレー
 - F、森でバングラものがたり！



「宝の森&水でっぼう戦争」は、参加した子ども達は賞品をゲットし、大喜び、午後から水鉄砲をつくり戦争ごっこをしていた。参加者 18人。

「サバイバルくねくねベーカリー」は、指導者が下呂から来て、パン生地作成に子ども達をうまく使っていた。サポーターが現場で取れた胡桃の中身を出すのを指導し、パン生地の中に入れ、棒にまきつけ「くねくねパン」を作った。閉会式には、食べていない子どもに配布した。参加者 10人。

「レッツGOフィッシング」では、竹やぶから竹を切り出し釣竿作りの準備をした。午前中に完成。午後釣りに出かけ、ほとんど全員が魚を釣ってきた。参加者 12人。

「ツリーハウス カフェ」では、大人サポーターが頑張って樹上に竹で生活空間を作り、子ども達は、竹はしごを一生懸命作っていた。完成後は一人一人サポーターの助けを借りて、樹上の部屋に登り、ジュースで乾杯していた。釣りブランチも好評でした。参加者 5人。

「プール パイレーツ リレー」は、参加者が少なく、一艘だけのイカダになった。竹とペットボトルを組み合わせてイカダを作り、栗栖小のプールでタイム競争をした。参加者 3人。

「森でバングラものがたり」は、富山からまたバングラデシュ人の指導を受け、子どもと大人が共同してバングラカレーづくりに挑戦し、美味しいカレーを作ってくれた。午後は、バングラでの子ども達の生活を元住者から話を聞いた。子ども達は皆自分達がとっても恵まれていることを実感した。参加者 30人。



全体プログラムでは、下呂から駆けつけてくれた大崎さん以下3名が、樹上を回遊できるロープを張り、子ども達を楽しませていた。大人のサポーターご苦労様でした。

(6) しみんてい10周年記念 市民活動交流フォーラム

「再発見！地域の絆」～市民グループ屋台村とアピール合戦～

日時：平成24年2月19日（日）午前9時45分～午後4時 場所：犬山市南部公民館

対談、市民活動25団体のブース出展、22団体のアピール合戦、7つの体験コーナーなど、盛りだくさんの交流ができました。

第1部「対談」

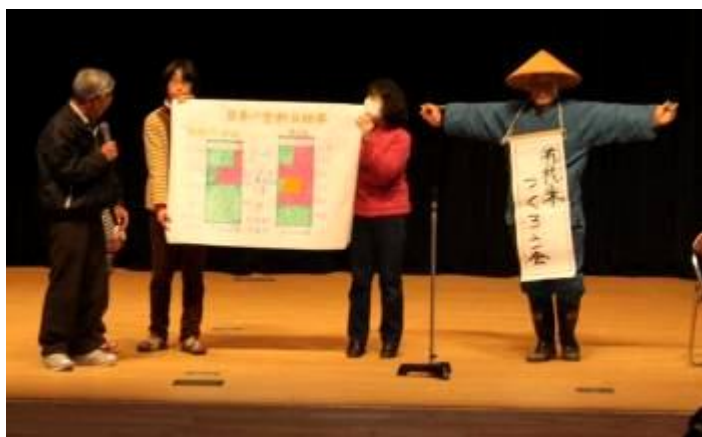
「地域の絆」と題して、高田当会理事長がコーディネイターを務め、(特)大ナゴヤ大学学長加藤慎康さん(特)穂の国まちづくりネットワーク代表理事神谷典江さんに対談して頂きました。

加藤さんは、主としてナゴヤで展開している自転車の危険防止・マナー啓発運動のお話をされ、神谷さんは、豊川のJCを主体にして豊川周辺まで視野に入れた活動の報告があり、地域での絆が今ほど必要性を高めている時はないので、その絆づくりに向けてお互いに競争していくことが大切であるという様なお話しでした。



第2部「市民グループ アピール合戦」

22団体が4分間ずつの活動内容のアピールを行ないました。各団体、色々工夫を凝らした活動アピールをしていました。発表後は、参加者がアピールとブース展示を含めて投票を行ないました。アピール団体は22団体。



第3部「昼食交流会」

人材交流ネットワーク

場所がやや少なすぎた嫌いもあるが、開いている体験コーナーを有効に利用してもらった。多くの交流ができました。

第4部「体験コーナー」

「竹笛づくり」「パステル画体験」「甲冑試着体験」「おもしろスポーツ」「米パンづくり」「折り紙作り」「伊勢型紙作り」を実施しました。

ブース出展は、アピール団体の他に「まみずの里」、「歴史・観光ガイド ナイスで犬山」、「不用品バンク I N U Y A M A」です。



「アピール合戦の成績発表」を午後3時半より行いました。

最優秀賞は、(特)シェイクハンズ、次賞は、よりみち探偵団。発表団体全てに賞状と賞品を渡しました。賞品は、犬山特産品と寄付品及び購入品です。気に入っていただけましたでしょうか？



(7) 集団生活に、なじめない子どもへの対応について！！ ～発達障害などのかかえている子どもへの対応策～

お話：心のアドバイザー 西村 則子 先生



2月18日（土）午後1時30分から犬山市南部公民館で23名の参加者があり、先生のお話をお聞きしました。

先生は、愛知県教育委員会の「心の居場所づくり」事業で、長いこと心のアドバイザーとしてカウンセリングにかかわっていらっしゃいました。現在は、相談員、カウンセリング、講演等で多忙を極めていらっしゃいます。

そのお話の主な内容を紹介します。

最近目立つのは、学校という集団社会の中で、不適応行動を起こす子どもの相談が多くなっています。子ども自身が軽度の発達障害を抱えているケースです。

この心の障害＝軽度発達障害に該当する子ども達は、具体的は、ADHD・LD・アスペルガー症候群といった障害を抱える子ども達なのですが、知的水準からは就学時検診でも特殊教育該当児童にはならず、集団に入ってその特異な行動・発言・思考が目立ち始めるのが普通です。

例えば、授業中立ち歩く。些細なことでパニックを起こす。言葉で指示を出されても行動に移せない。自分の好きな事をしつこく周囲の友達に強要する。学級担任だけで抱えられる問題でないことは明らかです。学校全体でまず軽度発達障害児の特性を知り、実は自分ではどうしようもない心の障害を抱えているのでは、と見直すことが大切です。

軽度発達障害の原因は、先天的な微細脳機能障害と考えられ、後天的な親の養育態度や環境によるものではないとされています。どの部分が「未発達」かによって、ADHD、LD、アスペルガー症候群と、その子どもの態様が違っていると理解すべきです。

今回はADHD（注意欠陥移動性障害）の子ども達への理解と対応を検討します。

中枢神経の未発達が原因といわれるADHDの子ども達は、1対5で男子に多いといわれています。学校生活におけるADHDの子ども達の特徴は、①クラス全体に出される言葉の指示に従えない。②身の回りの整理整頓がとにかくできない。③席にじっと座ることができず飽きてしまう。④10分くらいの課題にも集中できず飽きてしまう。⑤何をなすべきか分からずパニックを起こしやすい。⑥中途半端に終わることが多いので達成感がない。⑦高いところを好む。

なんといっても最大の要因は『言語による指示が受け止められず、行動の移せない』ことにあります。言葉の指示に従えないのですが、目からの情報はキャッチできると言われています。教師は、『言語情報』を出す時に、同時にADHDの子どもには『視覚情報』を出さなければなりません。（この記事は、西村先生の雑誌投稿記事を抜粋）

次に、アスペルガー症候群についてもお話がありました。以下は省略します。この情報を知りたい方は、「しみんてい」までどうぞ！！



(8) 多文化共生・地域づくり講演会 『 だから生きるんだ ～差別事象から学ぶ～ 』

講師：具志 アンデルソン 飛雄馬



平成24年3月16日（金）に楽田ふれあいセンターで、楽田地区コミュニティ推進協議会、（特）シェイクハンズ、（特）犬山しみんていの会の三者共催で、標記講演会を開催した。また、犬山市青少年健全育成市民会議の協力もいただきました。

ねらいは、外国籍住民の多い楽田で、多くの日本人に在住外国籍の人たちが味わっているであろう差別を知ってもらい、地域住民として彼らにいかに対応していくのかを考えてほしいから企画したものです。

幸い、犬山の西地区、城東地区、東地区をはじめ楽田の人たちも含め80人の参加者が熱心に彼の話聞いて感動していました。所期の目的は達成できたようです。

以下、具志さんのお話の概要をここに記します。

ブラジルへの移民が始まったのは1908年で、その後現在までに60万人の人たちがブラジルへ出かけたようです。彼らは何も無いところを開拓し、とても厳しい環境で苦労されたようです。

具志さんは、1990年に入管法が改正された年に家族と一緒に日本へ来ました。12歳、中学校への入学手続きに8ヶ月かかったそうです。（教育委員会の混乱が目に見えるようです）中学校では、外人（具志さんが一番嫌っている言葉）としていじめの対象にされ、定時制高校に入ってもそれは変わらず、あまりの酷さに空手を身につけていた彼は、切れて暴力事件を起こし退学となる。その後暴走族500人の頭になると、暴力団からも誘われる。損時傷害事件を起こし留置所へ。留置所で子どもの顔を見て「自分を変えなくちゃー」と決意する。

2000年一人の企業の社長と出会う。自分を変えようと営業の世界に入る。外国人では中々売れない。そんな時最愛の父が、クモ膜下出血で倒れ危険な状態になる。父を喜ばせようと名前も「具志飛雄馬」と改名し、営業を頑張った。全国人気販売員大会で全国2位の成果を収めた。その前に父は他界した。半年ほど自殺を考え荒れた。その時事件を起こし拘置所へ、そこで一人の老人と出会う。「人間の可能性を信じ社会復帰」。

2002年、三重県、津市、松坂市教育委員会より、小・中学校の国際化指導員として日本語や子ども達の相談サポートを行ないながら、自分達の実態を多くの人たちに理解してもらうため、講演活動始める。2006年、「特定非営利活動法人 多文化共生NPO世界人」を立ち上げ、外国人への差別待遇の解消と外国人への理解促進を図るために後援街道を活性化させた。

「具志 アンデルソン 飛雄馬」の言葉集から（一部抜粋）

- ★「出会いを大切に 時には一言で人生が変わる」
- ★「自分しかできないことが、きっとある」
- ★「一番大事な財産は、誰かのために頑張ること」
- ★「自分を大事にできて、はじめて人を大事にできる」
- ★「世間の評価より、自分を信じろ！」



(9) しみんてい広房

<1> 「やさしい折り紙」を一緒に楽しく作ろう♪

日時：5月22日（日）10：00～12：00

参加者 4名

指導：おりがみ博士 竹下 眞毅

場所：犬山しみんてい



<2> 真夏の夜の縁側談議 車座で聴こう、語ろう『岡本太郎』 ～なぜ、太陽の塔が犬山にあるの？～

日時：7月14日（日）18：00～19：30

参加者 33名

語り部：画家・地方研究家 黒野 興起 氏

場所：犬山しみんてい



＜3＞お話を聞いて、すいとんを食べよう

日時：8月7日（日）14：00～16：30 参加者 12名
指導：すいとんの会代表 時々輪 齊子
場所：犬山しみんてい



＜4＞紙とあそぼう♪ 作って、見て、遊んで、たのしさ♪いっぱい☆

日時：8月21日（日）10：00～12：00 参加者 4名
指導：おりがみ博士 竹下 眞毅, クラフト達人 佐藤 直孝
場所：犬山しみんてい



<5>マリーゴールド『絞り染め』☆染めもの体験しませんか！

日時：11月13日（日）13：00～15：00

参加者 8名

指導：(特)犬山しみんていの会理事 松山清子、木澤和子

場所：塔野地公民館



<6>おとなのための「遊びの縁側」ダーツで遊んで♪すてきな賞品をゲットしよう！

日時：11月23日（祝・水）10：00～12：00

参加者 17名

指導：(特)犬山しみんていの会理事 西尾晴孝、古田隆則、竹下 眞毅

場所：犬山しみんてい



<7>松ぼっくりの X'mas ツリー作り

日時：12月11日（日）13:00～15:00

参加者 22名

指導：(特)犬山しみんていの会理事長 高田 弘子

場所：犬山しみんてい



<8>「まちの駅」朝広房

日時：第1・第3 日曜日 朝9時～

担当：高木 茂子

場所：犬山しみんてい



＜9＞もちつき交流会

日 時：12月23日（祝）10：00～13：00

場 所：犬山しみんていの会

普段お世話になっている町内の人たちや、しみんていの会・会員に感謝の気持ちを込めて開催しました。



＜10＞おかげさま「塔野地地区つどいの会」

場所：塔野地公民館

【第9回】 10月17日（日）11：00～14：00

＜11＞甲冑広房

毎週（土）（日）（木）

場所：城前の甲冑工房



<12> Make a CHANGE Day 事業で文部科学大臣賞を受賞した

「Make a CHANGE Day」事業は、全国一斉一日ボランティアデーとして、10月22日(土)に、ボランティアをしようとする事業です。活動日は、その日だけでなく、10月1日～31日までの活動を「登録」対照とするもので「活動報告書」を提出するとアワード賞を貰うチャンスが広がります。

第2回では、「犬山子ども大学」で「奨励賞」(楯のみ)をいただき、第3回では、見事に「文部科学大臣賞」の表彰状と図書券3万円をいただくことができました。第3回の23年度は、登録1,600団体、ボランティア参加者12万人でした。第2回に比べ倍増との事です。しみんてい登録団体も第4回は是非参加しましょう!!



<13> 第3回愛フェス参加

2009年に誕生したこの催事は、寄付文化を社会へ広げようとして年1回フェスティバルを開催しています。第3回は、愛・地球博記念講演で、10月8日(土)と9日(日)で行なわれた【愛フェス】に当会も参加しました。

子ども達が楽しめる「紙トンボ」と「紙ブーメラン」のコーナーを作り多くの親子を集めることができました。投票によって当会は2万5千円をいただくことができました。ボランティアで当日参加していただいた方々には心より感謝申し上げます。

この「愛フェス」は、寄付社会を普及するために年1回市民活動団体に集まってもらいながら、交流を深め、広く社会へ“寄付文化”を普及したいとしてNPO法人愛知ネットが事務局を買って出ています。今後も当会としてもこれを応援してゆきたいものです。

(10) 協働事業

犬山しみんてい まちの駅 横丁

●春のお城祭り

4月2日(土)・3日(日)



●城下町ビールまつり

9月24日(土) 25日(日)



●犬山産業振興祭

10月8日(土) 9日(日)



●城下町秋まつり

10月22日(土) 23日(日)



●城下町ワインまつり

11月12日(土) 13日(日)



●あったか鍋と地酒まつり

3月17日(土) 18日(日)



(11) 犬山「子ども大学」

平成14年度からの学校週休2日制への対応策として、子ども向けの体験コーナーを満載した「犬山市子ども大学」が犬山市教育委員会により、平成14年度・15年度と実施されました。

当会が平成15年9月にNPO法人を取得した機会に、市教育委員会に当会から「子ども大学」講座内容を提案致しましたところ、平成16年度より当会へ委託を受ける事業となりました。

平成16年度13講座196名、17年度15講座287名、18年度18講座363名、19年度17講座362名、20年度22講座436名、21年度21講座408名、22年度22講座473名、23年度は21講座453名の推移です。着実に講座も参加者も増えています。

今年度の21講座は、犬山市の講座19講座と独立行政法人青少年教育振興機構子どもゆめ基金より2講座となっています。常に、犬山市及び文部科学省からの資金に頼らず、進んで他の助成金を取得して今日まで来ました。犬山市長には、この「子ども大学」をとても高く評価していただいています。文部科学省の予算は年々縮小気味ですので、犬山市の負担が増えるかも知れませんが、自前の財源確保にも今後は更に意を用いていかなければと考えています。

子どもにとって、「体験すること」「自ら進んで行動すること」は子どもにとっての“大きな財産”であり、“宝”になるものと考えています。今後とも「子ども大学」の発展に全力で取り組んでゆきます。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

※ 具体的な活動内容は、別冊参照。

平成23年度 犬山「子ども大学」 講座一覧

<犬山市委託事業>

- ① 国際理解 お料理で世界をつなごう！子ども外交官
- ② お店のオーナーになろう！“チャレンジ ザ ショップ”
- ③ 生き物探検隊 パートⅠ
- ④ 生き物探検隊 パートⅡ
- ⑤ サイエンス 電子工作
- ⑥ 君も エジソンになれる！
- ⑦ おもしろ電波教室
- ⑧ 子ども 武者クラブ
- ⑨ 囲碁・将棋たいけん教室
- ⑩ 伊勢型紙 彫りと染め
- ⑪ 楽しく絵をかこう 午前の部
- ⑫ 楽しく絵をかこう 午後の部
- ⑬ 日本文化にふれよう！お茶・お花
- ⑭ はじめての 楽しい陶芸
- ⑮ 押し花で ものづくり
- ⑯ 子どもパッチワーク
- ⑰ レク・スポーツを楽しもう
- ⑱ 犬山原始人クラブ
- ⑲ 子どもの自然教室 午後の部

<子どもゆめ基金事業>

- ① 冒険教室
- ② 子どもの自然教室 午前の部

〔V〕 調査研究・政策提言事業

（１） 政策提言

NPOに関わる平成24年度事業及び予算の提案書犬山市長へ

平成23年10月24日、平成24年度にかかるNPOに関わる提案書を犬山市長と犬山市教育委員会へ提案を行った。

【提言書抜粋】

- 1 犬山市のNPO・市民活動団体への支援基盤整備について
 - （１）しみんていの改修について
 - （２）犬山市とボランティア・NPOとの協働ルールの作成について
 - （３）各種団体への助成金の一本化について
- 2 犬山市の多文化共生時代への対応について
 - （１）外国籍の子どもの居場所づくり～学習支援～
 - （２）その他の対応の必要性和現状
- 3 コミュニティ組織の育成と結成支援の取り組みについて
- 4 市の委託事業関係の推進について
 - （１）しみんていの会への委託事業について
 - ア NPO協働推進事業
 - イ 市民活動支援コーディネイト事業委託
 - ウ しみんていの管理職員の待遇改善
 - エ 10周年記念に当たって、しみんていの改修
- 5 政策甲冑の管理運用委託について
- 6 犬山甲冑制作同好会への活動場所の確保について
- 7 犬山子ども大学について
- 8 小学校配置の外国籍児童、生徒に対する指導員の待遇改善について
- 9 犬山市役所でのNPO活動に対する理解促進及び普及・啓発事業
 - （１）NPO関係庁内連絡会議の開催
 - （２）NPOに関する職員研修の継続的实施

〔VI〕 施設運営・整備事業

(1) 施設利用状況

2011年度

市民活動支援センター利用者調べ

年／月	来館者数	団体利用		個人利用者数	
		団体数	利用者数	コピー	印刷
” 11/04	2,659	15	281	28	12
5	822	16	265	18	12
6	333	19	184	10	7
7	922	33	380	16	13
8	891	26	266	11	6
9	799	22	263	18	11
10	2,483	34	393	16	6
11	2,216	24	284	13	16
12	910	28	341	14	8
” 12/01	857	14	264	14	8
2	814	20	213	17	11
3	1088	24	163	18	12
合計	14,794	275	3,297	193	122

総利用者数	18,406 人
総利用団体	275 団体

(2) 前年度までの利用者・団体数の推移

年 度	総利用者数	総利用団体
2010	16,849	351
2009	14,396	374
2008	14,165	445
2007	12,264	294
2006	11,425	297
2005	6,188	262
2004	5,454	242
2003	4,775	253

(VII) 会議開催状況

しみんていの会議は定例会として月1回開催し、理事会、運営委員会を交互に実施しています。また、しみんていが主催する重点イベントなどはその都度実行委員会を設置し、内容及び運営体制など具体的な方策の検討をしてきた。

(1) 定例会議

名称	回	日時	主な議題
理事会	第1回	6月14日	* 10周年記念事業について
	第2回	8月9日	* 子ども大学の件について・理事の役割分担
	第3回	10月11日	* 犬山市への24年度事業及び予算の提案書、
	第4回	12月23日	* 23年度補正予算・24年度事業計画予算等
	第5回	2月8日	* 23年度決算見通し・10周年フォーラム
	第6回	3月13日	* しみんていのあり方・組織について
	第7回	4月25日	* 23年度総会対策
運営委員会	第1回	7月12日	* 年間行事・まちの駅について
	第2回	9月13日	* 甲冑着付け・城下町ビールまつり
	第3回	11月8日	* しみんてい広房・城下町ワインまつり
	第4回	1月10日	* 市民活動交流フォーラム
	第5回	3月13日	* あったか鍋・地酒まつり
大事務局会議	不定期		今期は理事中心に10周年事業中心に検討会を1回/月実施(5月度～)

※理事会と運営委員会は毎月1回交互に実施。(第2火曜日)

(2) その他の会議

- ① イベント毎にその都度開催(城下町協働事業、しみんてい広房、ニュース発行)
- ② 事務局会議：毎月1回開催(今月度振り返り、次月度の予定等)
- ③ 専門委員会：各専門委員会毎に、その都度開催(広報、企画)
- ④ 協働事業への会議出席

春・秋のお城まつり、城下町夏まつり、ビールまつり、ワインまつり、地酒まつり、集まれ犬山っ子等任命された委員が要請にもとづき各会議に出席。

(IX) 平成23年度決算報告

平成23年度収支計算書 特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会
2012/3/31 現在 (単位: 円)

科 目	23年予算	4/1~3/31(実績)	備 考
I 経常収入の部			
〔1〕会費収入			
1、正会員収入	200,000	208,000	1口2000円×104口(個人60人65口、団体34体39口)
2、賛助会員	170,000	140,000	1口2000円×70口(個人5人5口、法人12社65口)
3、情報会員	40,000	18,000	1口2000円×9口(個人9人9口)
小 計	410,000	366,000	
〔2〕事業収入			
1)委託事業			
1、施設運営事業	2,163,480	2,256,854	施設管理人人件費363日
2、コーディネート事業	2,565,000	2,565,000	各種相談・支援
3、NPO 協働推進事業	1,200,000	1,200,000	フォーラム・ネットワーク構築・市助成金・協働事業
4、子ども大学委託事業	4,949,000	4,949,357	国際理解など19講座
5、外国人支援事業	1,000,000	1,000,000	多文化共生事業(外国籍住民支援)
小 計	11,877,480	11,971,211	
2)助成金事業			
1、子どもゆめ基金	660,000	566,000	子ども大学2講座
2、セブン・イレブン財団	461,120	461,120	子どもプロデューサー「森と遊ぼう」
3、福祉医療機構	576,000	576,000	冬のおっぱら合宿
4、犬山市観光協会	300,000	300,000	甲冑保管管理
5、タイム技研	100,000	100,000	甲冑
小 計	2,097,120	2,003,120	
3)自主事業			
1、設備運営事業	120,000	168,709	印刷・コピー・紙折り
2、城下町協働事業		325,331	春・秋、ビール・ワイン・地酒まつり等
3、地域協働事業		72,170	テント・餅つき等備品貸出
4、拡大印刷事業		243,400	拡大の横断幕・立て看板等の印刷
5、その他		267,749	まちの駅、自販機
小 計	120,000	1,077,359	
4)参加費収入			
1、広房事業	100,000	72,510	しみんてい広房参加費
2、人材育成講座	50,000	51,500	参加費50,000円、教科書代30,000円
3、子ども大学	1,720,000	1,814,200	4,000円×453人+特別参加費2200円
4、ネットワーク事業	1,185,000	1,512,470	フォーラム161,000、甲冑174,000、森と90,800、冬の420,000 振興祭17,000、愛フェス30,670、夏馬瀬619,000円
小 計	3,055,000	3,450,680	
〔3〕寄付金・その他収入			
1、寄付金	50,000	186,360	しみんてい朝広房、駐車、講師料等寄付
2、受け取り利息		836	十六銀行の定期と普通預金口座の利息
3、雑収入	130,000	30,650	図書券、暖房費等
小 計	180,000	217,846	
経常収入合計	17,739,600	19,086,216	

Ⅱ 経常支出の部				
〔1〕事業費				
1) NPOリーダー研修事業	200,000	189,700		謝礼 150000 交通費 20000 消耗品等 19700
小 計	200,000		189,700	
2) 普及啓発・情報提供事業				
1、ニュースの発行	180,000	220,260		NO52～57号、馬瀬特集号＝6回発行
2、ネットワーク運営事業	600,000	599,800		情報収集・発信活動人件費
3、大掲示板整備事業	10,000	0		
小 計	790,000		820,060	
3) 相談助言事業	2,685,000	2,611,200		コーディネーター2名分人件費
小 計	2,685,000		2,611,200	
4) 人材交流ネットワーク促進事業				
1、市民活動交流フォーラム	303,000	561,182		人件費 127200 謝礼 194000 消耗品費等 239982
2、NPO行政協働実践事業	176,000	220,250		人件・市民活動 84900 市・協働 84900 振興祭 19480 愛フェス 30970
3、しみんてい広房事業	113,000	81,243		各種広房謝礼・材料費等 59565 餅つき交流会 21678
4、まちの駅運営事業	60,000	69,055		まちの駅謝礼・抹茶等材料費
5、城下町協働事業	100,000	226,606		春・秋等祭の謝礼、材料費
6、甲冑管理利用事業	630,000	726,876		謝礼 137480 借料 519000 光熱費等 70396
7、子ども大学事業	5,776,000	5,876,732		人件 760000 謝礼 3153940 交通 127100 教材 1336503
				消耗品 194336 新聞等 304853
8、多文化共生推進事業	1,000,000	1,016,785		謝礼 599000 教材費 95532 使用料 1890 消耗品等 320363
9、子どもによる森と遊ぼう	733,000	667,807		人件費 50000 謝礼 290000 消耗品等 327807
10、馬瀬川交流合宿	550,000	552,079		謝礼 80000 借料 116300 消耗品等 355779
11、10周年記念事業	1,308,700			
しみんてい助成事業		150,000		助成金 100000 と 50000 の2団体
表彰等		105,980		表彰等謝礼 60000 菓子まき 45980
冬の交流合宿		981,100		人件 160000 謝礼 180000 借料 126000 交通 170563 消耗品 140887
印刷等				印刷等 203650
小 計	10,749,700		11,235,695	
5) 調査研究・整備				
1、視察・研修	50,000	0		
2、政策提言	10,000	0		
3、研究・情報収集	60,000	78,940		シース、商工会議所、コミュニティ政策学会、フォーラム 21、交通費等
4、ポニー牧場調査・研究	10,000	0		
5、まちづくり研究会	80,000	0		
小 計	210,000		78,940	
6) 施設運営・整備				
1、運営	2,293,480	2,604,178		事務局員給与支払い分
2、環境整備	10,000	0		
小 計	2,303,480		2,604,178	
事業費支出計	16,938,180		17,539,773	
〔2〕管理費				
1、役員報酬		0		
2、謝礼		79,900		
3、通信費		59,640		
4、郵送費		140,735		
5、借料		131,835		
6、水道光熱費		45,305		プロパン使用料等
7、旅費交通費		154,906		NPO連絡会議等各種会議出席時交通費
8、広告宣伝費		8,400		新聞広告代
9、使用料		12,000		自販機行政財産使用料 12000
10、会議費		21,990		
11、消耗品費		391,537		
12、消耗備品費		184,690		
13、新聞図書費		58,374		
14、修繕費		60,348		
15、研修費		22,000		
16、保険料		15,100		
17、租税公課		281,100		消費税、印紙代
18、諸会費		27,500		市民会議、あんきにくらそう会等会費
19、支払手数料		8,040		
20、雑費	500,000	91,040		愛フェス 20000、絆プロジェクト協力金 30000、祭協賛金他 41040
小 計	500,000		1,794,440	
管理費支出計	500,000		1,794,440	
経常支出合計	17,438,180		19,334,213	
経常収支差	301,420		-247,997	
Ⅲ 当期正味財産増加分	321,702			
前期繰越正味財産	3,086,436		3,063,398	
正味財産合計	3,408,138		2,815,401	

平成23年度

特定非営利活動法人にかかる事業会計貸借対照表

平成24年3月31日 現在

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

(単位：円)

科目・摘要	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
（現金・預金）			
現 金	293,581		
普通預金	999,747		
定期預金	1,404,143		
現金・預金 計		2,697,471	
（売上債権）			
未 収 金	116,000		
売上債権 計		116,000	
（有価証券）			
図 書 券	20,000		
有価証券 計		20,000	
（その他流動資産）			
前払い費用	2,730		
その他流動資産 計		2,730	
流動資産 合計			2,836,201
資産の部 合計			2,836,201
II 負債の部			
流動負債			
預 り 金	20,800		
流動負債 計		20,800	
負債の部 合計			20,800
III 正味財産の部			
正味財産	2,815,401		
（内当期正味財産増加額）	△247,997		
正味財産 計		2,815,401	
正味財産の部 合計			2,815,401
負債・正味財産 合計			2,836,201

平成23年度
特定非営利活動法人にかかる事業会計財産目録

平成24年3月31日 現在
特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

(単位：円)

科目・摘要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
(現金・預金)			
現 金	293,581		
普通預金十六銀行 犬山支店	999,747		
定期預金十六銀行 犬山支店	1,404,143		
現金・預金 計		2,697,471	
(売上債権)			
未 収 金	116,000		
売上債権 計		116,000	
(有価証券)			
図 書 券	20,000		
有価証券 計		20,000	
(その他流動資産)			
前払い費用	2,730		
その他流動資産 計		2,730	
流動資産 合計			2,836,201
資産の部 合計			2,836,201
II 負債の部			
1 流動負債			
預 り 金	20,800		
流動負債 計		20,800	
負債の部 合計			20,800
正 味 財 産			2,815,401